

## ドライアイスで

1 学期の給食の準備の時間にこんな放送がありました。

「今日の給食にシャーベットがつきます。その箱の中にドライアイスが入っていますが、絶対に子どもたちに取り扱わすことの無いよう、必ず職員が扱ってください。」

(ふーん、今日はドライアイスがつくのか...)

「このドライアイス、どうする？」

と担任が聞くと

「水の中に入れよう！」

「センセ、水に入れて煙だそうよ。」

「あれ、おもしろいやんか。」

「それ以外は？」

「...」

どうやらドライアイス = 白煙ということしか知らないようなのです。

ドライアイスって「二酸化炭素」という気体の固まり「固体」なんです。ドライアイスからでてるのは二酸化炭素でこういった「固体」からすぐに「気体」という状態になることを難しい言葉で【昇華】というのです。

そこでお待ちかね「ドラポン」をしました。この前の「バブポン」ではちょっと勢い不足を指摘されたのですが、フィルムケースにドライアイスのかけらと水を少し入れ、逆さまにしておいておきます。するとすぐに...

**ポン！**

大きな音と共にフィルムケースが2階以上の高さまで飛んでいきました。

3階の渡り廊下から見物していたみんなはもう大騒ぎでした。

でもこれ結構危険です。けっしてキミたちだけではしないこと。それとペットボトルなんて使うと破裂して大けがすることになりますよ。

そのほかこのドライアイスの小さなかけらはおもしろいように机の上を滑っていきます。鉛筆をスティック代わりにするとミニミニアイスホッケーができます。

また、このドライアイスを細かく細かく金槌で砕き、牛乳と砂糖を入れてかき混ぜるとちょっとピリピリのアイスができるのです。これも給食の時間にみんなで試食しました。砂糖を多めに入れるとなかなかいけます。でも机の上が牛乳の泡でべちょべちょになってしまいました。



でもこのドライアイスってとても低温です。凍傷のきけんがあるので必ず大人の人と一緒にね。

明日、作文 と黒 忘れずに